

2017-18
人と地球にいいコミュニケーションパートナー



KINKAN GROUP は環境サービス全般を通して、 持続可能な社会の実現のため日々活動しています。

【目次】

- 01. トップメッセージ
- 02. グループ概要
- 03. 環境マネジメントシステム(EMS)
- 05. ISO14001 目的・目標
- 07. 自然環境
- 10. 地域社会
- 13. 環境学習
- 15. 共 働
- 16. 労働環境
- 19. コンプライアンスへの取り組み
- 22. 事業概要
- 23. 物流部門
- 25. 施設・設備
- 29. 第三者意見
- 30. 沿革、CSR活動のあゆみ

受賞歴

【報告対象期間】
2016年度(2016年5月1日～2017年4月30日)
※関連する報告で一部この期間が前後している場合があります。
【報告対象組織】
KINKAN GROUP 全社
【発行】2017年10月

【トップメッセージ】

今年もこのように、CSR報告書が発行できました事に、関係各位の皆様にご挨拶申し上げます。2016年の報告書での挨拶でも触れましたが、今年は先代の創業より55周年という節目の年を迎えることができました。まだまだ努力が足りませんが、細やかながら社員とご家族、普段から当社を支えてくださる取引先の方々と祝賀会も開催させていただきました。その中でも発信させていただいたKINKAN55周年ビジョンが「サステナブル55」です。2022年の60周年に向けて、社内外に発信し、継続的な成長目標としてご理解いただくと幸いです。

まず「サステナブル55」には、我々の事業活動を通して持続可能な社会の実現に寄与する、という大きなミッションの達成のために掲げられた5年ビジョンであります。私たちが、この地球上のこの地域で、更なる持続的な成長していくためには、大きくハードへの投資とソフトの強化があると考えています。特に時代の変化のスピードが速くなる昨今、ハードへの投資は存続の危機にもなりえる大きなリスクです。時代の潮流を読みとり、社会にとって必要とされる新しい価値を生み出す投資を実施してまいります。また、ソフトの強化とは私たちのサービスを支える人財の強化だと確信しています。AIやロボットの技術が進歩しようとも、そのベースを支えるのは人であると。その上で、この5年間という時間の人材育成は、今後の成長の要となるものだと信じています。

ゴミ回収から廃棄物処理業になり、さらにはリサイクル事業へと転換してきた私たちの事業も、まさに環境ソリューション企業として、エネルギーや地域の他業種との連携が求められているのだと実感しています。

私たちキンカングループは、次世代を担う子供たちに持続可能な社会を残すべく、今の時代にある課題解決を実行できる行動力をもったグループとして、皆様とともにこれからも歩んでいくことをお約束し、今年のCSR報告書の挨拶に代えさせていただきます。

近畿環境保全株式会社
代表取締役社長

株式会社湖南リサイクルセンター
代表取締役

西村忠浩





ありがとう

おかげさまで55周年

キンカングループは創業から55周年を迎えました。
 こうして55年もの長きにわたり事業を継続してこられたのは、
 これまで当社を支えてきてくださった皆さまの
 ご支援のおかげであり、あらためて感謝申し上げます。
 これからも100年企業を目指して、社会に貢献できる存在で
 あり続けるために着実な取り組みを行なっていき、
 継続発展を遂げたいと考えています。



【グループ概要】

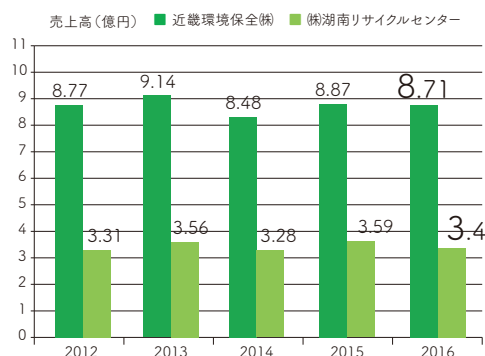
【会社名】 近畿環境保全株式会社(会社設立 1975年6月11日)
 【代表者】 代表取締役社長 西村 忠浩
 【資本金】 1,600万円
 【所在地】 本社・管理本部/〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地
 営業本部/〒525-0027 滋賀県草津市野村1丁目3番2号 SKビル2-B
 環境事業部/〒520-3114 滋賀県湖南市石部口三丁目6番13号

【会社名】 株式会社湖南リサイクルセンター(会社設立 2001年3月22日)
 【代表者】 代表取締役 西村 忠浩、代表取締役 西村 美代子
 【資本金】 1,000万円
 【所在地】 本社/〒520-3114 滋賀県湖南市石部口三丁目6番13号

【会社名】 有限会社ラゴ(会社設立 2005年1月12日)
 【代表者】 代表取締役 西村 美代子
 【資本金】 300万円
 【所在地】 本社/〒525-0041 滋賀県草津市青地町196番地
 京都営業所/〒601-8104 京都市南区上鳥羽角田町55-3

【業務内容】
 産業廃棄物中間処理業 一般廃棄物中間処理業
 産業廃棄物収集運搬業 一般廃棄物収集運搬業
 特別管理産業廃棄物収集運搬業
 資源物再生事業
 建設解体業
 リフォーム・外構工事
 環境機器販売
 廃棄物全般のコンサルタント業務

【URL】 <http://www.kin-kan.co.jp>



環境マネジメントシステム〔EMS〕

キンカングループは事業を行うことにより、環境や社会へ影響を与えています。

当グループでは、廃棄物の適正な処理やコンプライアンスの徹底、リサイクルの推進などに努め、環境への負担を減らしながら、お客様やステークホルダーの皆様へのよりよいサービスの提供を目指しています。それには、労働環境の改善や福祉への取り組みを推進し、安心して楽しく働ける職場づくりに努めています。

また、当社では、社会貢献および教育活動に力を入れています。廃棄物処理のプロとして、地域社会と次世代へ良い影響をもたらすことができるよう、キンカングループだからこそできる取り組みを行っています。

滋賀県で活動している会社として、滋賀県の自然環境を守ることは不可欠であり、常に当社でできることを考え、びわ湖や森林などの保全活動を行っています。また、地域とのコミュニケーションを忘れず、応援活動やイベントへの参加を推進しています。



人と地球に“いい”コミュニケーションパートナー

かけがえのない地球を大切にしたい。そんな思いを実現するために
キンカングループは環境に配慮した経営を目指します。

〔 KINKAN GROUP環境基本理念 〕

当社は、資源リサイクルと廃棄物の収集運搬及び、中間処理業を三本柱とし、適正に再資源化、処理を行ない、循環型社会の構築に努めます。人と地球に「E-COMMUNICATION PARTNER」というキーワードを基に、

お互いがパートナーシップを築き、未来への可能性を広げて、

私たちの地域社会や自然環境を愛する活動の実現と、自然との共生を目指します。

環境の **K**

環境を最優先に
物事を運びます。

感動の **K**

感動がないと
人は動きません。

改革の **K**

改革なくして
発展はありません。

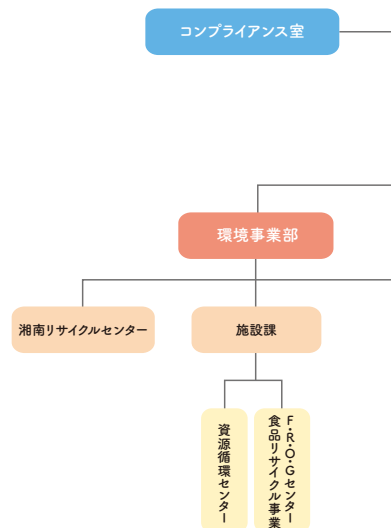
この気持ちをスタッフ全員が心に刻み、
環境問題とともに積極的に挑戦していくグループであり続けます。

〔 環境活動方針 〕

- 1 廃棄物を資源と認識し、適正に再資源化、再利用、再生利用、処理することに努めます。
 - ① 資源の有効利用と、社内から出る廃棄物の分別及び資源ごみの再資源化に努めます。
 - ② 中間処理後の産業廃棄物のリサイクル向上に努めます。
- 2 地域に根ざした環境事業の推進で、地域社会の貢献に努めます。
- 3 環境関連法規制・条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 4 事業活動から生じる環境負荷を低減するため、具体的な環境目的及び目標を定め、環境マネジメントシステムを継続的に改善することにより環境汚染の予防に努め、環境保全活動を推進します。
- 5 全構成員が、環境保全事業に従事する自覚を持ち、常に環境に配慮した行動を心がけるよう周知し、環境に関する教育及び啓蒙を行います。
- 6 本方針を実行し、維持し文書化して、全構成員に周知徹底するとともに、社外にも情報開示します。

2017年5月1日
代表取締役 西村 忠浩

〔EMS組織表〕



キンカングループは国連の持続可能な開発目標 (SDGs) を応援しています。

今回のCSR報告書をSDGsの元に作り、現在の取り組みはどのように目標に貢献しているのか、今後どのように世界の目標達成に向かっていけるのか、紹介していきます。

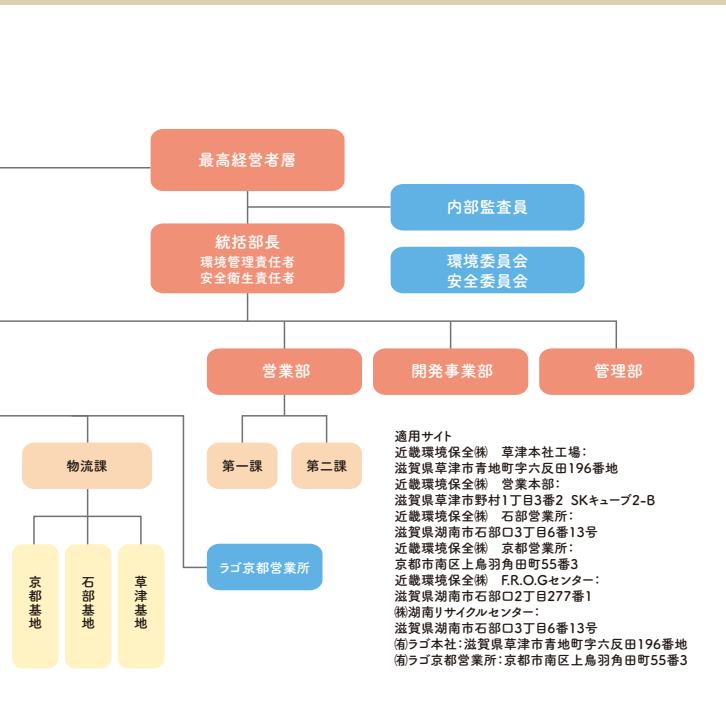
【SDGsとは】開発アジェンダの節目の年、2015年にニューヨーク国連本部において、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150を超える加盟国首脳の参加のもと、その成果文書として、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。

アジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、宣言および目標をかかげました。この目標が、ミレニアム開発目標 (MDGs) の後継であり、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」です。(国際国連広報センターのHPより)



【スタッフコメント】
営業部・環境事業部
統括部長 西村 篤

2015年にSDGsが決まった時に、当社もこの目標に貢献しなければならないと思いました。微力ながらではありますが、現在取り組んでいる事業や活動を通じてすでにSDGsが向かっている方向に進んでいるのではないかと考えています。現在の事業と活動を整理し、今後もSDGsの目標を意識しながら、当グループの進むべき道をスタッフ全員で考えていきたいと思っています。



12 つくる責任
つかう責任

目標12「つくる責任・つかう責任」
当グループの本業では、廃棄物の適正な処理やコンプライアンスの徹底、リサイクルの推進などに努め、環境への負担を減らしながら、「つくる責任・つかう責任」の目標12に貢献しています。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

目標7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」
再生可能なエネルギーへの投資は「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」の目標7に役立つと思われま

5 ジェンダー平等を
実現しよう

目標5「ジェンダー平等を実現しよう」
性別や障害、国籍などにとらわれず、誰でも安心して働ける職場作りを推進しています。

8 働きがいも
経済成長も

目標8「働きがいも・経済成長も」
性別や障害、国籍などにとらわれず、誰でも安心して働ける職場作りを推進しています。

15 陸の豊かさも
守ろう

目標15「陸の豊かさを守ろう」
滋賀県で活動している会社として、滋賀県の自然環境を守ることは不可欠であり、びわ湖や水源である森林、水の浄化をしてくれるヨシの保全活動に参加しています。

6 安全な水とトイレ
を世界中に

目標6「安全な水とトイレを世界中に」
滋賀県で活動している会社として、滋賀県の自然環境を守ることは不可欠であり、びわ湖や水源である森林、水の浄化をしてくれるヨシの保全活動に参加しています。

4 質の高い教育を
みんなに

目標4「質の高い教育をみんなに」
次世代の環境教育やスタッフ向けの研修に力を入れていることにより、「質の高い教育をみんなに」の目標4に貢献しています。

地域とのコミュニケーションを行い、
応援活動やイベントへの参加を推進しています。
世界の目標に少しでも貢献できるよう今後も
当グループの目標に合わせ、努力していきます。



ISO14001目的・目標

当グループは2005年より環境マネジメントシステムISO14001を取得しています。

ISO14001では、組織を取り巻くすべてのヒト（地域住民、ステークホルダーなど）及び自然（水、空気など）に対し、組織が与えている影響を明確にし、悪い影響を与えているところにおいて目標を立て、問題を改善していく仕組みを作っています。

2014年度より3年間新たな期間を始め、目標を決めました。今年度は最後の年であり、7つある目標の内、4つは達成し、3つは達成できませんでした。



ISO14001:2015
(JIS Q 14001:2015)

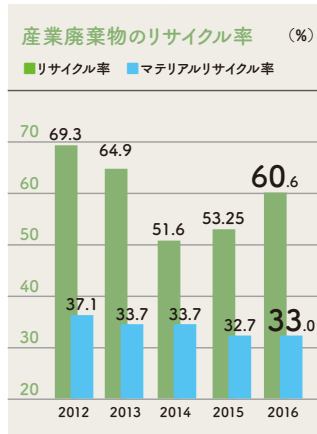
✓ 湖南リサイクルセンター 産業廃棄物のリサイクル

産業廃棄物の中間処理に特化した湖南リサイクルセンターにて年々リサイクル率の向上に努めています。

中間処理後産業廃棄物のリサイクル率向上に努めるという環境方針のもとに、マテリアルリサイクルができる有価物を増やすよう目標を立てています。また、維持管理目標として、マテリアルリサイクル以外のリサイクル方法（サーマルリサイクル、RPF燃料など）で処理される廃棄物の量を把握しています。

マテリアルリサイクル率の目標値は34.7%でしたが、達成することはできませんでした。やはり、前年の傾向は続いていて、お客様の分別の質がよくなりました。産業廃棄物としてリサイクルセンターに搬入される廃棄物はマテリアルリサイクルに繋がれる質ではなくなってきています。

しかし、今年度より導入した「二交代制システム」により、他のリサイクル方法で処理されていた廃棄物のリサイクル率を上げることができました。作業時間を延ばした二交代制による選別作業を改善し、「選別指導」を行いながら効率の良い選別ができるように努めています。その結果、その他リサイクル率は60.6%に増加しました。



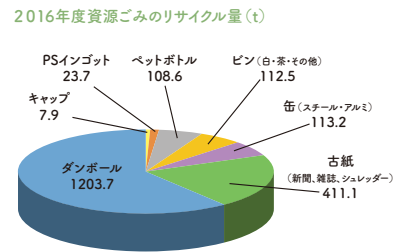
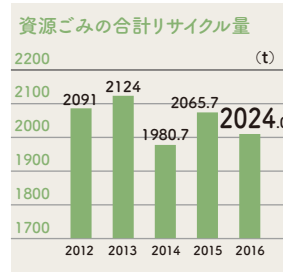
✓ 資源循環センター 資源ごみのリサイクル

分別を推進して、資源ごみのリサイクルを向上します。

当社は、事業系一般廃棄物を排出しているお客様から別の車輛で資源物も回収しています。回収された資源物は資源循環センターにて選別され、各リサイクル先に搬出されます。

2016年度にリサイクルに繋がった資源物の重量は2024tであり、例年通り、段ボールと古紙が一番多かったです。

ISO14001の3年間目標としては、2013年度実績より3%増加を目指しましたが、目標を達成することはできませんでした。改善策として、事業系一般廃棄物を排出されているお客様を増やし、資源物のリサイクルを進めていきます。

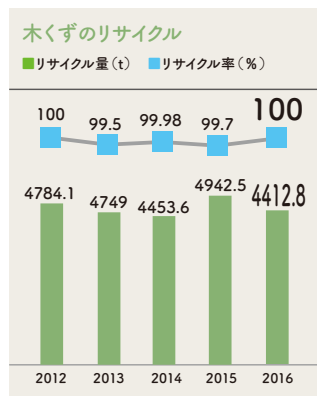


✓ 湖南リサイクルセンター 木くずのリサイクル

木材パレットや建設系廃木材の木くずをより効率的に再利用するために、専用の破碎施設を設けています。

当社にてチップ化された木材は品質により製紙原料または建材、燃料として再利用されます。

2016年度の目標は搬入される木くずの90%をリサイクルに繋げることであり、実績としては搬入された木くず全てをリサイクルに繋げることができました。



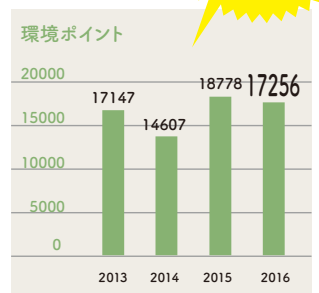
✓ 環境ポイント運動

スタッフ全員で資源物回収運動を行っています。

社員に缶、ペットボトル、新聞などの資源物を家庭から収集してもらい、個数や重さに応じてポイントを付与しています。他にも、環境に関するイベントや清掃活動に参加することでもポイントが与えられます。毎年、最も積極的に参加した20名の社員を表彰するなど、社員の士気を高めています。この取り組みもISO14001に掲げる目標の一つとなっています。

2016年度の目標はスタッフ全員で合計13000ポイントを獲得することで、実績は目標を大きく上回り、17,256ポイントを達成できました。3年間の目標は39,000ポイントでしたが、スタッフ全員で46,787ポイントに相当する資源ごみを集めることができました。

また、個人獲得ポイントの場合、2016年度も100ポイントを目指していましたが、100ポイントを達成できたスタッフは全体の約45%でした。



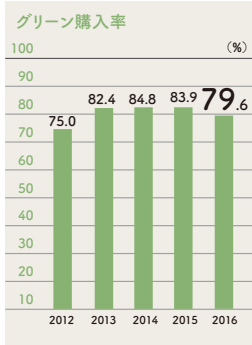
✓ グリーン購入

環境に配慮した商品の購入を推進しています。

当グループは2009年度より滋賀グリーン購入ネットワークの会員となっています。文具や事務用品を購入する際には、可能な限り環境配慮型商品を選択しています。

社内で購入する商品の中で、環境配慮型商品の割合を年々増加させるようISO14001の目標金額を設定しています。2014年度から3年間、購入金額の75%以上を維持できるように目標を決め、毎年目標を上回ることができました。2016年度には、グリーン商品の購入率は79.6%となりました。

グリーン購入率
79.6%
目標達成



✓ 低公害車輛の導入

環境への負担を減らすため、車輛の購入も低公害車輛にこだわって導入しています。

低公害車輛とは、Nox・PM対応車であり、2015年燃費基準達成車および2001年騒音規制車です。

2014年度から2016年までに低公害車輛を3台増車する目標を立てており、4台購入しました。

2016年度には3tアルミバン車1台を購入し、目標を達成しました。運搬車輛あつての業界だからこそ、環境に配慮できる車輛を選定しています。



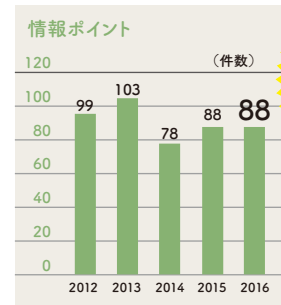
低公害車輛
1台購入
目標達成

✓ 情報ポイント

営業部での情報発信に対してポイントを付与しています。

営業部では、当グループの情報をCSR報告書やホームページ、SNS、産廃情報ネットなどを通じて、お客様やステークホルダー、地域の方々に対して幅広く発信し、情報ポイントを付与しています。

情報ポイントをISO14001目的目標の項目として管理し、2016年度の目標は121でした。実際の合計ポイント数は88となりました。昨年と同様であり、目標を達成できませんでした。来年度から情報発信をさらに積極的にを行い、地元や社会へ当グループの良さやCSR活動を幅広く伝えていきます。



2016年度
88P

環境目的目標 3年間まとめ表

部門	環境方針	著しい環境側面	環境目的	環境目標・結果						
				2014年目標	2014年結果	2015年目標	2015年結果	2016年目標	2016年結果	
全構成員	地域に根ざした環境事業の推進で地域社会の貢献に努めます。	環境ポイント制度	全構成員は環境ポイントを3年間で39000ポイント以上獲得する。	全構成員合計13000P	14607P	全構成員合計13000P (2年目合計26000P)	18778P (33385P)	全構成員合計13000P (3年目合計39000P)	17256P (46787P)	○
管理業務部		環境物品等の調達 (グリーン購入)	事務用品のグリーン購入比率を75%以上達成。	75%	84.8%	75%	83.9%	75%	79.6%	○
湖南リサイクルセンター	中間処理後産業廃棄物のリサイクル率向上に努めます。	有価物排出量向上	中間処理後産業廃棄物の総受入量の有価物排出量比36.7%以上を達成。	34.7%以上	33.7%	35.7%以上	32.7%	36.7%以上	33.0%	×
湖南リサイクルセンター	資源の有効利用と社内から出る廃棄物の分別及び資源ゴミの再資源化に努めます。	木製チップ(有価物)の排出	木くず受入量と木製チップ排出量の比を90%以上達成。	90%以上	99.98%	90%以上	99.7%	90%	100%	○
資源循環センター	資源の有効利用と社内から出る廃棄物の分別及び資源ゴミの再資源化に努めます。	資源ゴミ(有価物)の排出	2016年度末までに、有価資源ゴミの取扱排出量を3%向上(2014年度排出実績 2119.5t)	1%向上 (2014年末目標2140.7t)	1980.7t	2%向上 (2015年末目標2161.89t)	2065.7t	3%向上 (2016年末目標2183.09t)	2024.0t	×
F.R.O.Gセンター	資源の有効利用と社内から出る廃棄物の分別及び資源ゴミの再資源化に努めます。	実績向上	食品リサイクルを推進して環境配慮の処理処分の実績を増やす。	実績の把握	195t	2015年実績	476t	1%向上 (2016年末483t目標)	826t	○
環境物流部門		新型車両の購入	低公害車を2013年までに3台増車する。	1台購入	2台	1台購入	1台	1台購入	1台	○
営業部門	地域に根ざした環境事業の推進で地域社会の貢献に努めます。	環境配慮の処理処分の提供	情報開示件数<情報発信件数を2016年度末までに2013年度実績の6Pずつ向上)	情報発信件数の向上109件(2013年末実績103件)	78件	情報発信件数の向上115件(2013年末実績103件)	88件	情報発信件数の向上121件(2013年末実績103件)	88件	×

維持管理項目

当社では、事業をしている中で、どうしても削減・増加しにくい、あるいは削減・増加の目標をたてることのできない項目については、維持管理を行い、データにより項目の状況を把握しています。そうしたことにより項目を意識し、なるべく削減・増加できるように心がけています。

部門	2016年結果	
全構成員 〔資源循環センター〕	電気・水道の使用	水道1554m3(↑) 電気68383kw/h(↓)
全構成員 〔(株)湖南リサイクルセンター〕	電気・水道の使用	水道3122m3(↑) 電気212814kw/h(↓)
全構成員 〔(有)ラゴ〕	電気・水道の使用	電気5739kw/h(↓)
全構成員 〔F.R.O.Gセンター〕	電気・水道の使用	水道974m3(↑) 電気38647kw/h(↓)
〔F.R.O.Gセンター〕	太陽光発電	電気13530kw/h(↓)

部門	2016年結果	
業務・事務部門	事務用紙の使用	使用量/従業員数 2.60kg/人(↑)
業務・事務部門	事務用紙の排出	排出量/使用量 39.99%(↓)
湖南RC	中間処理後産業廃棄物の排出	リサイクル量/受入量 60.57%(↑)
湖南RC	木くずの受入量	木くず量=4412.83t(↓)
環境物流部門	全車両平均燃費	全車両平均燃費 4.53km/ℓ(↓)
環境物流部門	解体廃棄物の排出	109.17t(↓)

※(↑)と(↓)は昨年度との比較

自然環境

Nature

自然と生物多様性の保全活動

6 安全な水とトイレを世界中に



ターゲット6.6

2020年までに山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。

ターゲット6.b

水と衛生の管理に地域の参加を支援・強化する。

15 陸の豊かさも守ろう



ターゲット15.2

2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。

ターゲット15.8

2020年までに、外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優先種の駆除または根絶を行う。



滋賀県で事業を行っている当社にとって、地元の自然環境を守ることは私たちの使命でもあります。持続可能な事業を実施するためには持続可能な自然環境が不可欠です。キンカングループは、地元の団体や企業と共にびわ湖や水源の森にて様々な活動を行っています。



森林づくり

森林整備の推進に努めています。

2009年より湖南市にある三雲生産森林組合のみなさんと「森林づくりパートナー協定」を結び、びわ湖の水源である森林を整備し、びわ湖を守る活動をサポートしています。この協定により、森林づくりにかかる費用と労働力を提供し、年に一回または二回、共に作業を行っています。



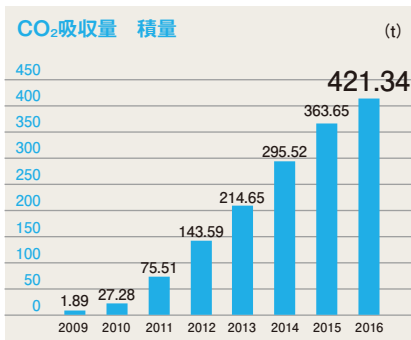
2016年度には、10月29日に下草刈りと間伐作業のお手伝いをしました。

森林の力を活かした地球温暖化防止

森林を元気にすると共にCO₂を吸収する機能を向上させ、地球温暖化防止にも役立っています。協定による森林整備の内容を毎年滋賀県庁森林政策課に報告し、滋賀県知事よりCO₂吸収証書をいただいています。

2016年度のCO₂吸収量は57.64トンでした。協定を結んだ2009年から2016年まで、合計421.34トンのCO₂削減に貢献しました。

2009-2016
421.34t
CO₂吸収



ヨシでび

ヨシ刈り活動で水浄化

2010年より「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」のメンバーとして、草津市や近江八幡市にて湖岸や西の湖のヨシを刈る作業に参加しています。ヨシを刈り取ることで、びわ湖の浄化を促進し、ヨシの有効利用にも貢献しています。2016年度には、12月3日と2017年2月25日の2回、ヨシ刈りを実施しました。



びわ湖のヨシで作った名刺を使用しています!





【スタッフコメント】
営業部 営業一課
課長 北川 光一

毎年、草津市や近江八幡市の琵琶湖湖岸にてヨシ刈り及び外来種駆除に参加しています。滋賀県には30年近く暮らしておりますが、このような活動を5年前から始めました。

この活動を通して、環境に対する考え方や琵琶湖の水源の大切さ、外来種による生態系の変化等を身近に感じております。

春先のニュースでは、亀などの外来種に琵琶湖特産のハスの芽を食い荒らされ全滅し、復旧するにも何百年もかかる事を聞いて落ち込んでおります。小さな事ですが参加者と力を合わせ、活動して後世に伝えていける様取り組んでいきます。

わ湖を守る運動



外来魚駆除

外来魚駆除釣り大会に参加しています。

びわ湖の生態系を脅かすブラックバスやブルーギルなどの外来魚を駆除し、固有の生き物や生態系を守り続けていくため、毎年開催される「外来魚駆除釣り大会」に当グループも参加しています。2016年度は、6月18日に東近江市の伊庭内湖にて駆除釣りを行いました。



スタッフが活動に参加することでびわ湖やヨシへの関心が高まるだけでなく、若手社員が先輩とともに汗を流して活動することで、社内コミュニケーションやチームワークの向上にもつながると実感しています。



清掃活動

地域における清掃活動や美化活動に、毎年積極的に参加しています。

月に一度、事務所がある4か所にて会社周辺の清掃活動を実施しています。主にゴミ拾いや草取りを行っています。また、毎年7月1日前後に行われる「びわ湖の日美化活動」にも参加し、地域の様々な企業とともに湖岸や公園のゴミ拾いをしています。

清掃活動を行うことで、道のごみを減らすことに貢献するだけでなく、地域との距離が近くなり、地域におけるスタッフの存在感とスタッフの責任感や地元への愛着が強まると信じています。



自然環境

Nature

15 陸の豊かさも
守ろう



ターゲット15.2

2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



ターゲット7.2

2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。

キンカンの森



2011年



2016年

内モンゴルにおけるカラマツ植林を7年間行っています
森の状況は <http://carbonfree.co.jp/tree-station/> でご覧になれます



〔カーボンオフセット〕

植林による環境保全

地球温暖化は世界的に大きな問題となっています。当社の環境への負担を軽減させるために、中国の内モンゴルにおける植林活動を応援しています。廃棄物を収集運搬する際、毎月排出されるCO₂の約5%を吸収できるカラマツを月に8本植林していただくことにより、二酸化炭素排出量の一部に対してカーボンオフセットをしています。

植林活動を始めた2008年から現在まで792本のカラマツの植林を支援してきました。これは、一年間で約800kg、現在までで198tのCO₂削減量に相当します。植林を通して、地球温暖化防止だけではなく、砂漠化の進行をくい止め、土壌回復による生物多様性の確保など地球環境の保全にも貢献しています。



2016年度
約800kg
CO₂削減



〔再生可能エネルギー〕

太陽光発電の設置

F.R.O.Gセンターの施設に約12kwの太陽光パネルを設置し、太陽光発電を行っています。2016年度には13,530kw/hを発電しました。それは約7tのCO₂削減効果となります。

2016年度
7t
CO₂削減



〔低炭素社会への取り組み〕

LED照明の使用



湖南リサイクルセンターにて全電球をLED照明に交換しました。



〔低炭素社会への取り組み〕

BDFプロジェクト

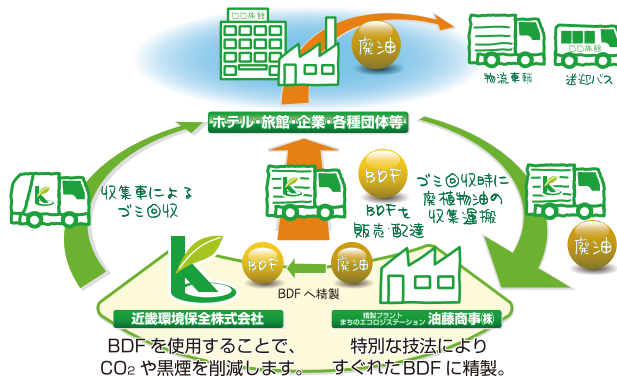
循環型社会を目指し、2006年度から廃植物油を回収しています。その廃植物油は豊郷町にある油藤商事株式会社にて精製され、作られたバイオディーゼル燃料（BDF）は地域やお客様の車輛に使用することができます。

BDFは新たに二酸化炭素を排出しないため、「カーボンニュートラル」な燃料であると言われています。地域で排出された油を地域でリサイクルし再利用することにより、循環型社会を実現することができます。

2016年度
43.24t
CO₂削減



2016年度は、16,500ℓの油を回収しました。軽油の代わりにこのBDFを使う場合43.24tCO₂を削減することができます。



BDFを使用することで、特別な技法によりCO₂や黒煙を削減します。すぐれたBDFに精製。

地域社会

Community

KINKAN GROUPだからこそ
できる活動で、資源ごみの価値を
さらに活かし、地域に役立てます

キンカングループは、2010年度より資源ごみでびわ湖の環境保全活動に協力しています。
お客様から提供していただいた缶や古紙、段ボール、廃植物油などの資源ごみを、
「循環型社会創造研究所えこら」を通じ、びわ湖の環境保全と環境意識の促進に活かしています。

12 つくる責任
つかう責任



ターゲット12.8

2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする



寄付活動



マザーレイク滋賀応援基金への寄付

資源ごみのリサイクルで集まったお金は、滋賀県の「マザーレイク滋賀応援基金」と公益財団法人 淡海文化振興財団の「びわ湖の日基金」へ寄付されます。

2016年度には、約32.7tの資源ごみを寄付につなげることができました。



びわ湖の日基金への寄付

約32.7t 資源物

約140,000円寄付

環境教育



クリスマスグッズ作りワークショップ&ミニコンサート

えこらでは、廃油を使ったキャンドル作りや要らなくなった紙や段ボールを使った飾り作りなど、子どもも大人も楽しみながら環境意識を高められるイベントや学習会を開催しています。リユースワークショップを通じて参加者のごみに対する価値観が変わると、捨てる前にもう一度ごみの価値を見直していただけるようになると思っています。



循環型社会創造研究所
えこら

「循環型社会創造研究所えこら」とは？

持続可能な社会の実現を目指し、資源ごみでびわ湖の環境保全や環境学習、企業における研修、エコツアーの実施などを行っています。

[環境イベント]

Live! Do You Kyoto?

音楽を通じてエコを考えてみようと、2010年から毎年、京都で音楽イベント「Live! Do You Kyoto?」が開催されています。当グループは、スポンサーとキャップ回収への協力者として毎年応援しています。

また、Live! Do You Kyoto?を始め、京都の様々なエコなイベントにて回収されたキャップを当グループ京都営業所で受け入れ、リサイクルした収益を寄付に繋げています。2016年度には760kgのキャップが集まり、リサイクルした収益の一部が京都の森林保護に使われている緑の募金へ寄付されました。

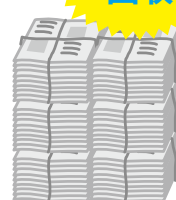
キャップ
760kg
回収



読売新聞との取り組み

読売新聞の販売店と共同で行っているこのプロジェクトでは、読売新聞を購読されているお客様から古新聞・雑誌などを回収しています。回収した資源ごみをリサイクルしてできた収益の一部を寄付に繋げています。2016年度には52.7tの古紙が集まりました。

資源物
52.7t
回収



地域社会

Community

地域とのコミュニケーション

12 つくる責任
つかう責任



ターゲット12.8

2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする



環境とスポーツの融合



プロバスケットボールチーム「滋賀レイクスターズ」を7年間応援しています。試合会場内にてフラッグ広告を出し、エコステーションを設置しています。スポンサーとして地域との交流を図っているだけでなく、共にできる環境活動も行っています。



会場内にごみのエコステーションを設置し、会場に出たごみの分別を呼び掛けている。エコステーションが置かれていることで、来場者や関係者のごみ分別に対する意識が高まってきて、会場の美化にも効果的だと言われています。



地域との交流 第49回草津宿場まつり「かごかきレース」に参加

草津市の旧東海道、中山道で4月30日に開かれた「第49回草津宿場まつり」で、かつて人気を呼んだ「かごかきレース」が9年ぶりに復活しました。スピードだけでなく、衣装のアイデア性やパフォーマンスも争うユニークな競技です。

当グループの若手社員2つのチームで参加し、「キンカンズ」チームが優勝しました。地域と交流しながら、チームワークの向上を楽しく味わえたイベントでした。



優勝のキンカンズチーム



新人チーム

地域社会

Community

環境イベントの実施・出展

12 つくる責任
つかう責任



ターゲット12.8

2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする



KINKANセミナー



当グループのお客様と新規の企業様を対象に、2016年度に2回（11月2日及び1月27日） KINKANセミナーを企画・実施しました。

「環境経営≧コスト削減」というテーマで省エネ事業のメリットや環境に配慮した産業廃棄物の収集運搬方法などを紹介しました。ご来場の皆様と共に環境経営がさらに大事になってきているこの時代を語り合い、未来への新たな一歩を考えました。

びわ湖環境ビジネスメッセ

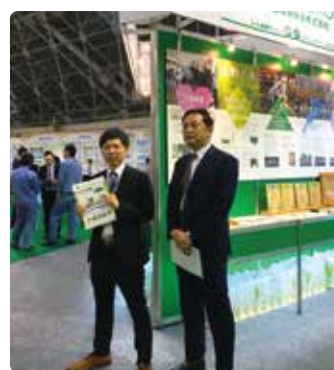


毎年秋に開催される「びわ湖環境ビジネスメッセ」の基本理念は「環境と経済の両立」であり、実行委員会は持続可能な経済社会を目指しています。環境産業の育成振興を図るため、環境負荷を低減する製品・技術・サービス等を対象とした商談・取引と情報発信・交流の場となる環境産業の総合見本市であるメッセに、当グループも毎年出展しています。

2016年度も、ご来場の皆様に環境経営の大切さを伝え、安心・安全で、環境に配慮したサービスや当社のCSR活動を紹介しました。メッセは、当グループの情報を発信でき、地域やお客様と交流ができる大事な場だけではなく、若手社員の研修の場としても役立ちます。

毎年若手のスタッフが中心となって、出展の準備と企画を行い、当日は先輩と共に会社の事業を説明したり、接客したりしながら、知識とコミュニケーションスキルを向上させ、仕事がスムーズにできるように成長します。

2016年のびわ湖環境ビジネスメッセに29,190名が来場され、当グループブースには1,000名以上の方々にお越しいただきました。



草津市エコフォーラム

昨年に引き続き、2016年8月31日に草津市のエコフォーラムに出展しました。環境問題や取り組みなどの最新情報に関する講演会と展示会を含むエコフォーラムは毎年開催されており、地元の会社や行政、一般の方々と交流がはかれる良い機会になっています。



愛する地球のために約束する協定

キンカングループの本社である近畿環境保全株式会社では、2009年から地元の草津市と「愛する地球のために約束する協定」を結んでいます。温暖化防止や環境保全への取り組みを約束し、取り組みの結果を毎年草津市に報告しています。



環境学習

Environmental Education

4 質の高い教育を
みんなに



ターゲット4.7

2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

12 つくる責任
つかう責任



ターゲット12.8

2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。



子ども向けの環境学習を積極的に実施しています。

廃棄物の収集運搬と処理をしている当グループは、子どもの社会教育に役立つと思い、2007年から小学校における環境学習を実施しています。廃棄物のことやリサイクル方法などを次世代を担う子どもたちに伝えることは、私たちの使命であり、環境意識の向上と持続可能なライフスタイルの実現につながると考えています。



ごみ学習



積み込み体験



分別体験



子どもたちには、まずごみの種類、分別とリサイクル方法について学習してもらいます。その後、廃棄物の回収はどうしているのか、ドライバーはどのような仕事をしているのか実感してもらうために、実際に車輛にごみを積み込む作業の体験をしてもらいます。

また子どもたちは、廃植物油の精製の仕組みを見学したり、プレスされた缶やプラスチックインゴットなどに触れることで、リサイクルを肌で感じる事ができます。更に、クイズ形式でゲームをしながら、知識を深めていきます。

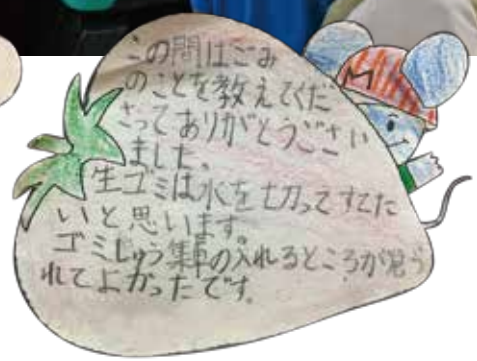
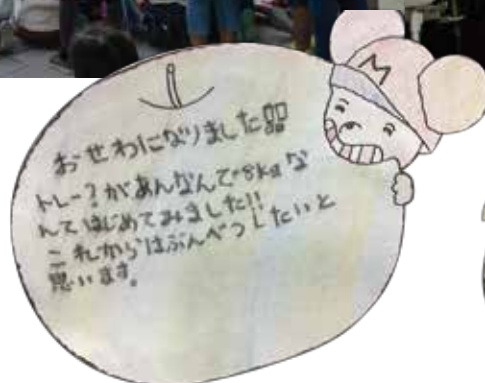
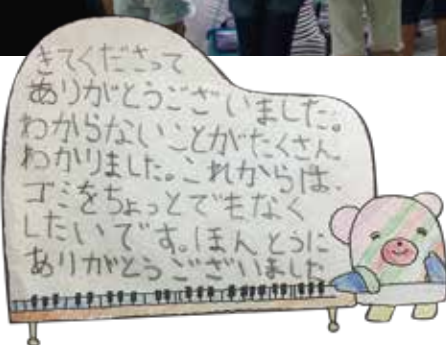
湖南省立三雲東小学校 野洲市立三上小学校での環境学習

2016年度には、湖南省の三雲東小学校と野洲市の三上小学校にて4年生の環境学習を行いました。今年度で三上小学校は6回目、三雲東小学校は4回目になりました。連続した教育は、学校との連携を深め、より質の高い教育にもつながります。



【先生コメント】野洲市立三上小学校 森 拓哉 先生

4年生の社会科「ごみのしよりと利用」の学習の一環として、出前授業に来ていただきました。分別されたごみが、どんなものになり、リサイクルされるのかをクイズ形式で学んだり、実際にパッカー車にごみを積み込む体験をしたりするなど、子どもたちにとって大変わかりやすい授業をしていただきました。また、ごみを分別することの大切さに気づくとともに、自分たちが環境を守るためにできることは何なのかを考えることができました。今回の学習を生かして、子どもたちは総合的な学習で「3R運動」に取り組みます。子どもたちの環境に対する関心を高める、大変すばらしい機会となりました。ありがとうございました。



リサイクル
クイズ

職業体験

毎年11月3日に公益社団法人東近江青年会議所さんが開催している二五八祭内の仕事体験広場「はたらキッズパーク」にて毎回参加しています。

2016年度にも多くの子どもさんにごみ収集運搬と選別の仕事を体験してもらいました。分別レースというゲームも行い、盛り上がりました。学びは実践で深まっていきますので、廃棄物業界の仕事を体験してもらいと、ごみ分別の重要性だけではなく、このような仕事の大切さも学んでいただけます。



【スタッフコメント】営業部 南 春菜

今年初めて環境学習に参加させていただきました。
リサイクルクイズやごみの選別体験に積極的に参加してくれている子供たちの姿を見て、とても嬉しかったです。また、学習が終わった後に「楽しかった」と言ってもらえて、やりがいを感じました。
この体験が、子供たちの環境について考えるきっかけとなると同時に、楽しい思い出になれば幸いです。環境学習をより楽しく、わかりやすい内容にするためにがんばっていきたいと思います。

共働

Working together

誰でも働ける社会づくり

8

働きがいも
経済成長も



ターゲット8.5

2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。



〔就労支援団体との連携〕

地元作業所の皆様とともに作業を行っています。

当グループは就労支援団体と連携し、作業所の利用者の方々が安心して働ける安全な職場を提供しています。今年も「しあわせ作業所」様との連携を継続し、資源循環センターにて分別作業などの仕事をしています。

また、2016年度より新たに「就労支援センタールミエル」様と2017年度より「さつき作業所」様と取り組みを始め、F.R.O.Gセンターにて処理前の準備作業を共に行っています。

キンカングループが目指す社会は、誰でも安心して働ける社会であり、そのために性別や障害、国籍などに問われず誰でも活躍できる職場作りに努めることが不可欠です。

当社スタッフと障がい者や就労支援の利用者の方々が共に働くことにより、お互いの視野が広がり、工場がやりがいあふれる職場になるように、今後も心掛けたいと考えています。

作業所の利用者から正社員へ

昨年度まで作業所から通っていた荒川さんが4月から正社員になりました。

今後も、障害などにとらわれず、共に働く仲間を増やしていきます。



働く時間が長くなりましたが、体力も大丈夫で、楽しくやっています！

荒川尚幸さん



ルミエル

少数精鋭で100%就職を目指す

ルミエルは障害者総合支援法に基づく就労移行支援事業サービスであり、利用者の日常支援と社会生活支援を行っています。2年間の社会生活訓練の中で、企業体験も実施されています。キンカングループはその企業体験に協力し、利用者の方々のコミュニケーション能力を高め、労働経験を積んでいける訓練を応援しています。



誰でもできる簡単な仕事で、やりがいがあります！そして、社会では学べないことも勉強できて、周りをさらに意識できるようになりました。



色々経験をして、自分に合う仕事を見つけたいと思います！

さつき作業所

企業と福祉施設との相互理解を
発展させ、より良い関係を築く。

さつき作業所では、就労経験のある障害者に対し、就労の機会を提供するとともに、生産活動に必要な知識や能力を向上するために訓練を行っています。当社での作業を通して、障がい者の方々が今まで経験できなかったことを体験し、スキルアップできるように協力しています。



6月からFROGセンターで働いていて、このような仕事は初めてでした。最初は袋からものを出すのが難しかったが、もう慣れてきましたし、皆さんと一緒に働くのが楽しいです！ずっとやりたいと思っています。



西岡愛子様

労働環境

Working environment

8



5



ターゲット8.5

2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。

ターゲット5.1

あらゆる場所におけるすべての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。



〔安全な職場づくり〕

スタッフの働きがいと職場の改善を目的に、キンカングループは様々な取り組みを実施しています。

KINKANよくするプロジェクト

KINKANよくするプロジェクト（通称：よくプロ）は、自分たちの働く環境を自分たちの手でよくしていくためのプロジェクトです。社内の課題解決と改善を目的として、各部署ごとに取り組んでいます。提案された課題と改善方法は各部門別の会議を経て、社長などが参加する審査会へ上程されます。見事に審査を通過すると、新たなISOの手順書として運用が開始されます。

チームで話し合って活動することは、職場の改善だけでなく、チームワークの向上にも繋がります。

安全委員会

スタッフが安全に仕事できるように、様々な面から職場を分析し、危険なところを減らしています。

毎月一度の安全委員会では、各部署の責任者が集まり、工場や物流、各部署における危険箇所について話し合い、改善策を議論しています。また、スタッフの安全装備を設定し、人身事故が起こらないように工夫しています。

ドライバーの安全のため、出発前に健康状態を必ず確認します。また、運搬車輛に「みまもりくん」という運行情報を管理するシステムを設置しています。毎日、運転日報が作成され、安全の面とエコの面で運転方法に点数が付けられます。「みまもりくん」によってドライバーの安全運転への意識が高まり、事故防止にも繋がります。

スタッフの健康の確保

毎年2月にスタッフの健康状態を詳しく調べる健康診断を行っています。また、粉塵対策および熱中症対策として、こまめな水分補給や作業中の特別なマスク着用、工場内にミストが出るシステムの使用を実施しています。



女性が輝いて働ける職場づくり

当グループは仕事と家庭を両立しやすい職場づくりに努めています。女性スタッフは出産後、一年間の育児休業を利用して正社員で就業を継続するようにしています。また、パートで働けるシステムを作り、育児をしながら仕事をする女性スタッフを応援しています。



労働環境

Working environment

8

働きがいも
経済成長も



ターゲット8.5

2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。

4

質の高い教育を
みんなに



ターゲット4.4

2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。



〔スタッフのスキルアップ〕

随時研修や勉強会を開きスタッフのスキルアップを目指しています。

社内研修

当グループはISO14001を取得していることにより、スタッフ全員が目的目標を認識し、随時チェックできるようにするために、年に複数回ISO勉強会を実施し、各部署の目的目標を復習させ、達成するために対策を話し合います。

日々の仕事を効率よく行っていき、危険性にすぐ気づき防ぐ姿勢が、安全な職場づくりに繋がります。そのために勉強会や訓練を実施しています。リスクアセスメントに関する勉強会を年に二回、消防に関する訓練は年に一回、各グループ会社にて実施しています。

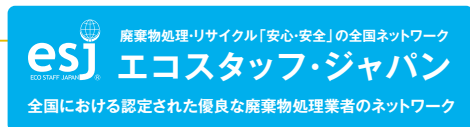
また、工場内で使用している重機や機械に関する研修を開催し、メーカーと連携して使用上の重要な知識や効率良い使用方法を学んでいます。



社外研修

スタッフのスキルアップを心掛け、随時研修の機会を与えています。エコスタッフ・ジャパン認定企業として、営業研修やドライバー研修、安全衛生研修と合同施設見学会などに参加し、スタッフの知識を向上させています。プロ意識があることにより、仕事に自信を持ち、よりスムーズに働ける上、お客様にもより良いサービスを提供できるようになります。

2016年3月に京都にて廃掃法に関する研修会に参加しました。5月には、宮崎県にて、労働安全衛生について学びました。11月には、東京のヤマトスタッフサプライにてドライバー研修を受けました。さらに、若手社員を中心にスキルアップの為、(公財)産業廃棄物処理振興財団が主催する経営塾への入塾や、廃棄物管理士、エコ検定などの取得も支援しています。



【スタッフコメント】環境事業部 物流G 主任 大森高志

社外研修に参加して、他の会社のことを知ることができ、自分が実施していることを伝えることができました。ドライバーとしての危険性を話し合う時には、やっぱり課題が似てると思って、解決方法や正しい対応の仕方を再確認できました。

参加して感じたのは、自分の会社をもっと知りたい、そして、後輩に会社のことをもっと知ってほしい、私からできる範囲で会社が実施していることをもっと伝えたいと思いました。

労働環境

Working environment



〔防災対策〕

安心・安全な職場・工場づくりを目指しています。

火災対策

危険性の把握・防止・削減

当グループにとって最大の危険は火災です。仕事や作業の危険性を把握し、未然に防止し、危険性を削減する対策を行っています。万が一を想定し、緊急事態に対応するための対策手順を策定しています。

また、スタッフ全員が手順どおりに実施できるよう、定期的に社内勉強会や訓練を行い意識の向上をはかっています。また、火災の原因となる物（ライター、発煙灯等）が廃棄物に混入しないよう、現場と営業が連携してお客様へ搬入禁止物の周知をはかっています。

2016年度には、9月27日に湖南リサイクルセンターにて、9月28日に資源循環センターにて、9月29日に京都の事務所、ラゴにて消防訓練を実施しました。



事故防止対策

安全委員会や安全パトロールの実施

安全委員会は問題点を様々な面や立場から見て、解決方法などを共に考える委員会です。メンバーは環境事業部（物流グループ、施設グループ）、開発事業部、営業部、湖南リサイクルセンターの各担当で構成され、月一回の定例会議を行っています。工場内・物流業務等、業務の中に潜む危険箇所を挙げ、改善策を決定していきます。

活動は定例会議のみならず、安全パトロールや勉強会の開催もしています。安全パトロールでは、週一回安全委員会のメンバーが各現場の見回りを行います。また勉強会は、各部署で月一回、社内全体では年二回開催されています。危険予知（KY）活動やリスクアセスメントについて学びます。

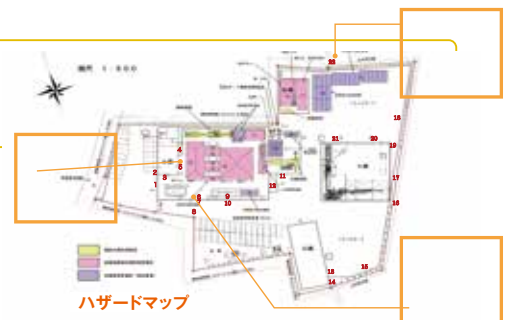


収集運搬の時に発生する油漏れの際、すぐに流出を防ぐことができる吸着セットを全車輻に設置しています。

水害対策

大雨や洪水などを未然に防ぐ

湖南リサイクルセンターは河川に近く土地も低いことから、水害のおそれのある地域になっています。そのため、水害対策を行い、大雨や洪水などの際に発生する危険性を削減できるように心掛けています。事務所内のフロアの嵩上げ、設備の擁壁の設置等を実施しました。また、災害時の行動マニュアルや工場内のハザードマップを作成し、災害を未然に防ぐように努めています。



BCP協定（事業継続計画協定）

当グループは所属しているエコスタッフジャパンの認定企業39社でBCP協定を結んでいます。BCP協定とは、「自然災害や不可抗力」により事業活動が継続困難な状況に陥った場合に認定企業が相互に支援し合う協定です。



コンプライアンスへの取り組み



〔法的要求事項〕 安心・安全への取り組み

当グループの事業で環境への負担を把握するために、事業を行っている4ヶ所にて廃棄物の処理および収集運搬の際に発生する騒音・振動・臭気に対して毎年調査を実施しています。

騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法の基準をもとに調査し、基準値以下となるよう努力しています。又、当社は特定施設にはなりませんが、水質汚防止法の項目に沿って自主的に水質も測定しています。

2016年度の調査が5月25日に行われ、基準値を超えずにクリア出来ました。

また、法律と条例を遵守しているかどうか、毎年2月に確認しています。2016年度の確認日は2017年2月28日にあり、全ての法律と条例を遵守していると確認できました。

法規制の遵守

事業者の産業廃棄物はその事業者自らが処理しなければならない原則がありますが、処理ができない場合は、廃棄物処理業者に委託することが出来ます。

当グループは排出事業者の皆さまから、収集運搬と処分を委託していただきます。様々な地域における収集運搬業許可と処分業許可を取得し、法を遵守した適正処理を行っている上、マニフェストによって廃棄物の流れを最初から最後まで管理しています。

【スタッフコメント】

コンプライアンス室 室長 永戸浩一

ISO14001:2015版を今年5月から実施し半年、この報告書の発行前に移行審査も完了しました。当社のマネジメントシステムもこの機に情報セキュリティや労働安全衛生を一部取り入れながら成熟させていきたいと考えております。社長のサステナブルへの取組の思いを具現化して、よりよいマネジメントシステムの構築と要求事項の順守に取り組んでいきます。今年度は、優良認定の産業廃棄物収集運搬業の許可エリアが山口県と奈良県で取得できました。順次優良認定の取得に向け活動してまいります。



法律・条例 一覧(五十音順)

- 悪臭防止法
- 各種リサイクル法
- 火災予防条例
- 揮発油等品質確保法
- 計量法
- 建設業法
- 個人情報保護法及び滋賀県個人情報保護条例
- 湖南省環境基本条例
- 滋賀県ごみの散乱防止に関する条例
- 滋賀県生活排水対策の推進に関する条例
- 消防法
- 浄化槽法
- 振動規制法
- 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律及び滋賀県人権尊重の社会づくり条例
- 水銀使用製品産業廃棄物に関する廃掃法
- 石綿障害予防規則
- 騒音規制法
- 男女雇用機会均等法
- 電気事業法
- 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律
- 道路運送車輛法
- 道路交通法
- 同和対策特別処置法
- NOx・PM 法
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- フロン回収破壊法
- 暴力団等排除条例
- 労働安全衛生法

遵守確認日
2017年2月28日

評価:
すべて遵守

【騒音レベルと振動レベルの調査結果と評価】

当グループ全社にて基準値をクリアできました。

騒音レベル	近畿環境保全圏	静岡県RC	F.R.O.Gセンター	南ラゴ
規制基準	65dB	70dB	70dB	70dB
調査結果 (場所/No1)	59dB	56dB	57dB	52dB
調査結果 (場所/No2)	56dB	55dB	57dB	58dB
評価	○	○	○	○

振動レベル	近畿環境保全圏	静岡県RC	F.R.O.Gセンター	南ラゴ
規制基準	65dB	70dB	70dB	65dB
調査結果 (場所/No1)	37dB	47dB	43dB	37dB
調査結果 (場所/No2)	42dB	50dB	43dB	38dB
評価	○	○	○	○

【臭気測定の結果と評価】

当グループ全社にて基準値をクリアできました。

臭気レベル	近畿環境保全圏	静岡県RC	F.R.O.Gセンター	ラゴ
規制基準	12	敷地境界線14		
試験の結果 (場所/No1) (臭気指数)	10以下	14以下	10以下	10以下
試験の結果 (場所/No2) (臭気指数)	10以下	14以下	10以下	10以下
評価	○	○	○	○

【水質】

放流水に関してもデータ管理を行っており、年一回水質に関する調査を自主的に実施しています。

計量対象項目	単位	計量の結果		計量の方法
		近畿環境保全圏	静岡県RC	
ノルマルヘキサン抽出物含有量	mg/L	0.5未満 (-)	0.5未満 (-)	環境庁告示第64号付表
大腸菌群数(デゾ法)※	個/m ³	64 (↓)	0 (↓)	厚生省・建設省令第1号
水素イオン濃度		7.2 (↑)	6.7 (↓)	JIS K0102 12.1
(pH測定時試料温度)※	℃	21 (↑)	20.7 (↑)	JIS K0102 7.2
浮遊物質	mg/L	23.3 (↑)	6.4 (↑)	環境庁告示第59号付表
化学的酸素要求量	mg/L	12.8 (↑)	2.7 (↓)	JIS K0102 17
生物化学的酸素要求量	mg/L	32 (↑)	2 (↓)	JIS K0102 21及び32.3
燐含有量	mg/L	0.2 (↑)	0.1 (-)	JIS K0102 46.3
窒素含有量	mg/L	0.8 (↑)	0.5 (↓)	JIS K0102 45.2

※印項目は、計量証明対象外項目です。()は昨年度と比較。



2017年5月1日・(有)山陰クリエートにて

〔処分地の視察〕

安心・安全な収集運搬および中間処理

廃棄物を適正に処理していることをお客様がいつでも確認できます。
 当グループの中間処理だけではなく、
 最終処分を行っている業者の視察も可能です。
 最終処分地の視察は当グループのスタッフも行い、
 お客様が安心できるように、適正な処理を確認している上、
 見学の機会をスタッフの研修としても利用しています。

工場見学

お客様自身で、処分地を確認することができます。

廃棄物処理についての情報をお客様に提供するだけでなく、お客様自身の目で、処分地を確認することができます。ご希望があれば、当グループの施設はもちろん、最終処分地においても視察や確認が随時可能となっています。また、研修や環境学習のための工場見学会も行っています。



2016年8月5日にエコなライフスタイルを家庭に取り入れ、
 ごみなどについて学んでいるエコサークルの皆さんが見学に来られました。

処分地の確認

最終処分地に赴いての視察、処理の適正さを確認しています。

お客様から安心して処理を任せいただけるよう、最終処分地に赴いての視察、処理の適正さを確認しています。
 お客様にご提案するのは、適正さの確認が得られた最終処分地のみとなっています。



2017年5月12日・(株)京都環境保全公社にて



2017年5月1日・(有)山陰クリエートにて

2016年10月26日に、蛍光灯のリサイクルをしている旭興産業(株)、2017年5月1日に当社のプラスチックなどで固形燃料を作っている(有)山陰クリエート、5月12日に焼却場、最終処分埋め立て場の(株)京都環境保全公社を視察し、適正処理を確認しました。

コンプライアンスへの取り組み



〔事業エリア〕

安心・安全な収集運搬および中間処理

当グループは産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、事業系一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物と一般廃棄物の中間処理許可を幅広く取得しています。

滋賀県湖南エリアや湖北広域、彦根市と愛知郡愛荘町、また京都市における一般廃棄物収集運搬の他、石川県から香川県までの15府県にて産業廃棄物を収集運搬しています。

他の県においても許可更新の際、優良認定を申請していきます。優良産廃処理業者として、厳しい基準に適合しながら、お客様により安心していただけるサービスを提供できるよう、日々の適正処理に取り組んでいます。

当グループは優良産廃処理業者に認定されていて、現在9府県において優良認定をいただいています。

優良産廃処理業者認定制度を活用して適正処理を進めていきます

優良産廃処理業者認定制度とは、通常の許可基準よりも厳しい基準に適合した優良な産廃処理業者を、都道府県・政令市が審査して認定する制度です。

優良産廃処理業者認定制度の認定を受けるためには、以下の基準に適合する必要があります。

- ① 違法性
- ② 事業の透明性
- ③ 環境配慮の取組
- ④ 電子マニフェスト
- ⑤ 財務体質の健全性

※詳しくは環境省HPにて

現在、優良認定がある府県：
石川県、岐阜県、静岡県、愛知県、大阪府、兵庫県、奈良県、広島県、山口県

当社許可について詳しくは sanpainet.or.jp を御覧ください。



許可都道府県及び許可品目

○…産業廃棄物収集運搬業 ◎…積替え保管の許可もある品目

燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	特管 腐食性廃酸	特管 腐食性廃アルカリ	特管 特定有害廃酸	特管 特定有害廃アルカリ	特管 感染性産業廃棄物	特管 特定有害廃石綿等	特管 廃油	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※特管：特別管理産業廃棄物

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物 収集運搬業 近畿環境保全(株)

都道府県	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	特管 腐食性廃酸	特管 腐食性廃アルカリ	特管 特定有害廃酸	特管 特定有害廃アルカリ	特管 感染性産業廃棄物	特管 特定有害廃石綿等	特管 廃油	
石川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福井県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岐阜県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
静岡県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
滋賀県	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
京都府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
京都市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奈良県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山口県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
香川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※普通産廃は石綿含有産業廃棄物を含む

一般廃棄物 収集運搬業 近畿環境保全(株)

愛知郡愛荘町、大津市、草津市、湖南市、彦根市、守山市、野洲市、栗東市、湖北広域
京都市 (街ラゴ)

中間処理業 近畿環境保全(株) 草津工場

破 砕	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず
-----	------------------------------

中間処理業 近畿環境保全(株) F.R.O.Gセンター

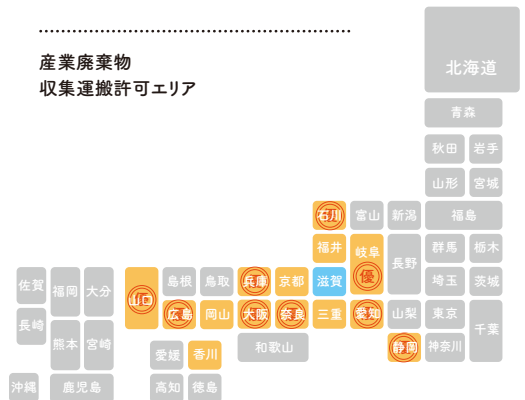
選 別	汚泥(有機性汚泥に限る)、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、動植物性残渣、金属くず
一般廃棄物処分業	食品不要物 (野菜くず、パン類、麺類、弁当類、液体食品類)

中間処理業 (株)湖南リサイクルセンター

破 砕	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類
破 砕	ガラス・陶磁器くず(石膏ボード)
圧 縮	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、金属くず
溶 融	廃プラスチック類(発泡スチロール)
一般廃棄物処分業	粗大ごみ、不燃ごみ、木くず、剪定枝、刈草

※2017年9月現在

産業廃棄物 収集運搬許可エリア



一般廃棄物 収集運搬許可エリア



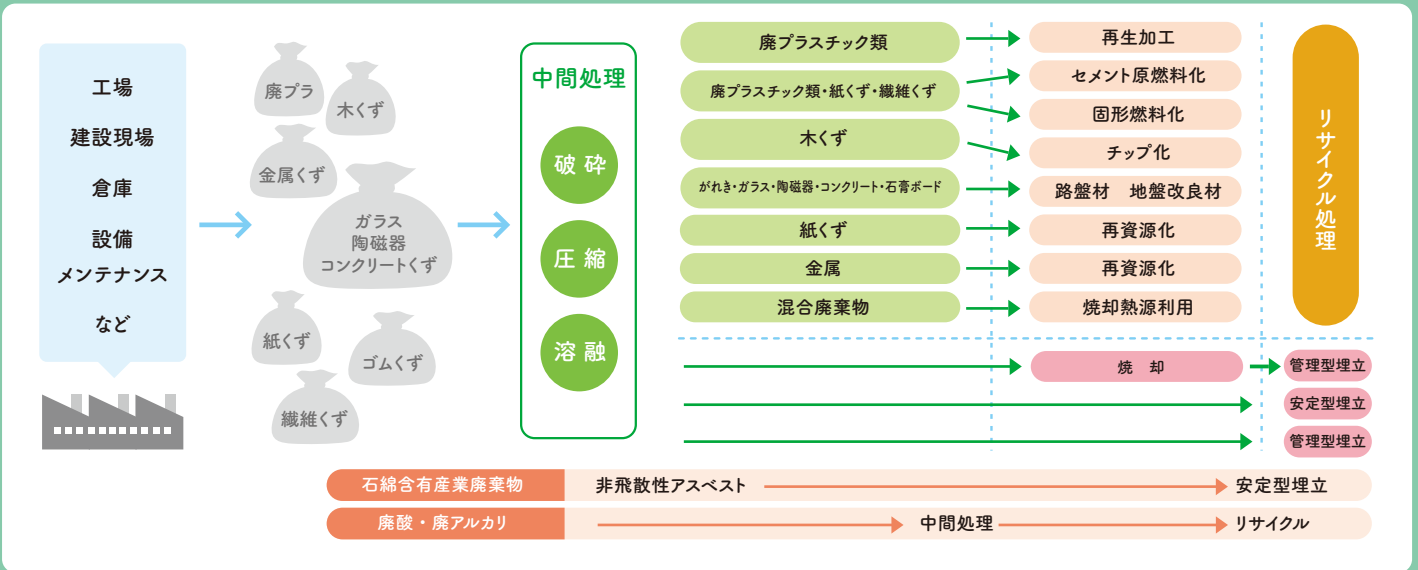
【事業概要】

当グループはお客様のニーズに応える為、多岐にわたる許可を取得し、収集から最終処分までを適切に管理しています。

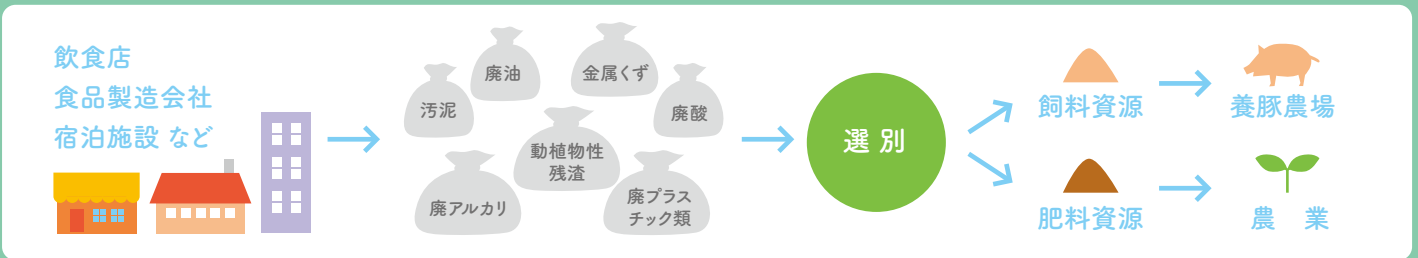
事業系一般廃棄物（収集運搬）



産業廃棄物（収集運搬・中間処理）



食品廃棄物（収集運搬・中間処理）



特別管理産業廃棄物（収集運搬）



T-POINT が貯まります。



企業・個人様向け環境サービス

ハウスクリーニング
水周りから高い所、様々な場所までクリーンにいたします。
部分部分のセットパックプランもございます。お得ですよ！

庭のお手入れ
お庭のお手入れでお庭スッキリ！
雑草処理から芝生管理、害虫駆除まで何でもします。

リフォーム
リフォームもおまかせください。
水周りから内装・外装までどんな所もスッキリリフォーム！

戸建解体
木造住宅やRC構造の住宅、また納屋や小屋といった小さな建物まで、
自社処理場をもつ当社だから、一環処理でコスト削減しています。
どんな小さな解体でもお問い合わせください！

【物流部門】

最適な車輈を手配して お客様の元へ

当社では、万が一の事故を防ぐため出発前の事前チェックでドライバーの身だしなみや健康状態の確認・車輈の点検を行います。

廃棄物の引取り後は、みまもりくんやGPS等の運行情報システムにより廃棄物の適正運搬及び安全運転管理を実現しています。お客様から委託された廃棄物は契約に基づき、品目や性状によって適正な処分先へと運搬します。



朝礼・MT



排出事業者
回収

許可品目

廃プラスチック類 金属くず 紙くず
木くず 繊維くず ガラス・陶磁器及び
コンクリートくず がれき類 ゴムくず



事前チェック

ドライバーは出発前に身だしなみ・健康状態の確認を行い、免許証や許可証、マニフェスト等の携帯物チェック、車輈点検を行います。また、緊急事態マニュアルを各車輈に携帯し、万が一の事故の際は各ドライバーが適切な対応をとれるように対策しています。

- ✔ 免許・許可書
- ✔ マニフェスト
- ✔ 緊急事態マニュアル
- ✔ 健康状態のチェック
- ✔ 車輈の点検



健康状態のチェック



車輈点検

廃棄物に合わせた、運搬方法を提案

キンカングループが保有する運搬車輈は、お客様のニーズに幅広く対応できる充実のラインナップ。廃棄物の種類に合わせた多彩なコンテナと、最適な車輈を手配し、お客様のもとへ伺います。

アームロール車

台数：3台(10t)、3台(9t)、
7台(4t)、1台(3t)、2台(2t)



4t車

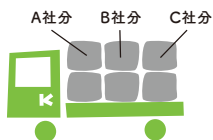


2t車

当グループのスタンダード車輈です。荷台がコンテナになっているので、そのまま降ろして設置できます。

ECCO回収サービス対象車

効率のよい
ルートでエコ

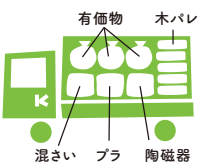


ユニック付平ボディ車

台数：1台(4t)

ユニックで釣り上げての積み込みが可能です。リフトをお持ちでないお客様にご活用いただけます。様々なコンテナの積み合わせや小コンテナの交換が可能です。

まとめて
大量同時運搬でエコ



15t 低床WING 車

台数：2台(15t)



一度に多量の荷物を運ぶことができます。段積み、リフトでの積み込みが可能です。小コンテナやフレコンバッグなどの積み合わせにも適しています。

平ボディ車

台数：1台(9t)



小コンテナやフレコンバッグなどの積み合わせが可能です。



【スタッフコメント】
環境事業部
統括課長 中村真也

3年間の目標で4台の車輛を購入しました。車輛は環境に配慮した車ですが、やはり維持も大事で、車が長持ちするように長く、きれいに乗ることに心掛けています。

また、ドライバーの教育もレベルアップさせるように考えています。ドライバーの廃棄物に関する知識を高めて、お客様のところで聞かれたことに詳しく答えられるようにセールスドライバーの育成を目指していきたいと思っています。

高度運行情報システム

みまもりくん



みまもりくんとは、最高速度・急発進、急ブレーキ等の運行情報を管理するシステムです。
当社では、みまもりくんによる運転日報をもとにドライバーへの安全運転意識の向上を図っています。



ETマニフェスト e-reverse

電子マニフェストに付加機能が付いたものです。ET-マニフェストはGPSデータによる運行管理が可能になり、e-reverseは、建設工事等の現場特性に合わせた運用ができます。



KINKAN GROUP 「湖南リサイクルセンター」へ



湖南RC

許可品目

- 汚泥 燃え殻 廃油 廃酸
- 廃アルカリ 動植物性残渣
- 鉋さい ばいじん 感染性廃棄物
- 廃石綿



湖南リサイクルセンターで処理が出来ない廃棄物も協力業者とのパートナーシップにより、適正な処理先を提案します。

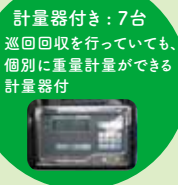
協力業者

環境への負担が少ない
「天然ガス車」

パッカー車 台数：1台(9t)、8台(4t)、8台(3t)



圧縮型の積み込み車輛です。重量が軽く圧縮できる廃棄物を大量に積み込むことができます。



計量器付き：7台
巡回回収を行っている中、個別に重量計量ができる計量器付



3tアルミバン車 台数：1台(3t)



ユニック付アームロール車
台数：1台(4t)



ユニックで釣り上げの積み込みが可能です。リフトをお持ちでないお客様のもとで、コンテナの積み合わせや小コンテナの交換ができ、荷台のコンテナをそのまま設置することも可能です。

2tアルミ車、軽トラック車
台数：各2台



主に資源物の回収に使用しています。道幅の狭い住宅地など、小回りの効く回収ができます。

冷蔵冷凍車 台数：1台(3t)



最適温度を保持する冷蔵車です。主に食品廃棄物の運搬に利用しています。

コンテナ一覧

フレコン



1m³



1.5m³



4m³



6m³



8m³

ふた付き

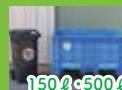


6m³



24m³

食品回収BOX



150L・500L

小口産廃回収BOX



60L

【施設設備】

湖南リサイクルセンター

〔産業廃棄物 処理〕



12 つくる責任
つかう責任



ターゲット12.2
2030年までに天然資源の持続可能な管理及び
効率的な利用を達成する。



県下最大級の処理能力を有する工場

株式会社湖南リサイクルセンターでは産業廃棄物、一般廃棄物の処理とリサイクルを行っています。廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、ガラス・陶磁器・コンクリートくず、金属くずなど8品目を取り扱っています。適正な選別、中間処理を行い、マテリアルリサイクルやサーマルリサイクルに繋がります。また、お客様のニーズに合わせてリサイクル、処理を行います。



搬入・計量

廃プラスチック類 金属くず
紙くず 木くず 繊維くず
ガラス・陶磁器及びコンクリートくず
がれき類 ゴムくず



異物確認

荷下ろし前に、許可以外の品目が混入していないか目視で確認



選別

細かな手選別により各リサイクルルートへ

朝礼・ミーティング・終礼



「おはようございます、こんにちは、いらっしゃいませ、ありがとうございます」で1日の業務が始まり、一人一人が声を出す事により、その日の仕事へのスイッチが入ります。

朝礼後のミーティングでは、各自その日のスケジュールを共有し、終礼では一日の出来事と反省点を話し合い、業務が円滑で安全に進むようにしています。日々朝礼やミーティング、終礼を行い、お客様にとって安心、安全な会社を目指しています。

重機・設備の点検



お客様からお預かりした廃棄物を適正に処理をする施設や重機などは、事故や故障によってお客様にご迷惑をおかけしない為にも、毎日点検をし、定期的にメンテナンスも行っています。

お客様が湖南リサイクルセンターに廃棄物を出せば安心だと言ってもらえるように、私たちは日々努力しています。

【スタッフコメント】環境事業部 湖南リサイクルセンター 主任 吉田 光



最近心掛けているのは、「やる気」目的目標を持ち頑張る・「元気」常に元気よく・「勇氣」新しい事にチャレンジする勇氣です。この3つを心掛けて今年も頑張ります。
今年の6月11日で、近畿環境保全が創業55年を迎えキンカングループ55周年祝賀会を滋賀県にあるロイヤルオークホテルで行いました。社員の家族やキンカングループ関係者の皆様にもご参加頂き盛大にお祝いをする事が出来ました。次回の節目の60周年を目指し社員一同頑張る当グループを盛り上げていきたいと思っています。お客様が今より安心して廃棄物を出していただける会社を目指していきたいと思っています。

再生利用

マテリアルリサイクル

搬入された廃棄物から有価物の金属・古紙・一部プラスチックを
選別し圧縮等加工して国内外に売却しています。



廃プラスチック類（塩ビを除く）

セメントリサイクル

マテリアルリサイクルできない廃プラスチック

ゼロ
エミッション
達成

処理能力
約100
t/日



圧縮
処理



プレス梱包された廃棄物

株式会社トクヤマにて
セメントの原料燃料化
としてリサイクル

圧縮 原料燃料化リサイクル

廃プラスチック類、紙くず、
繊維くず（塩ビを除く）

固形燃料（RPF）リサイクル

セメントリサイクルできないプラスチック、紙くず、
繊維くず、また、その混合物

ゼロ
エミッション
達成

処理能力
約100
t/日



圧縮
処理



プレス梱包された廃棄物

RPF製造工場で固形燃料
化され、製紙会社のバ
イオマスボイラーに使用
してリサイクル

固形燃料



廃プラスチック類、金属、
木くず、紙くず等、
混合物廃棄物、複合廃棄物

サーマルリサイクル

セメントにも、RPFにも適さない廃棄物

ゼロ
エミッション
達成

処理能力
約200
t/日



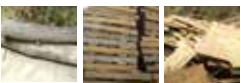
破碎
処理



破碎処理された廃棄物

排熱を発電に利用後、灰
をリサイクル。排熱を発電
に利用後、灰をスラグ・メ
タルとしてリサイクル

破碎 サーマルリサイクル



純木パレット、梁、柱材、
合板、腐敗パレット、生木、など



釘などの金属は
磁力選別機により
分けられます。

木材チップ専用破碎施設

様々な状態の木くずを有効にリサイクル

木くずを破碎してチップを製造します。

湖南リサイクルセンターに同設する木材チップ専用破碎施設では、種類ごとに搬入された木くずを、
破碎施設によりチップ化します。木材チップは製紙原料や建材原料などに利用されています。原料として
利用出来ないものは、バイオマスボイラーの燃料として活用しています。自然の恵みを有効に再利用す
ることを目的に、木材のリサイクル率100%を目指しています。



有価物として売却されます。



製紙原料チップ、建材原料 バイオマスボイラー燃料チップ

廃棄となった製品の 安心・安全な処理

各種製造メーカーの機密情報が詰まった製品を、解体、分別後、
マテリアル・サーマルリサイクルで安全かつ安心のリサイクルを実現。
確実な解体、破碎処理を行う事により、横流し等のリスクを排除。

安全管理



処理前、中、後の写真撮影と
報告書を作成。

安心処理



突発的な廃棄にも対応できる
処理能力と荷受け場所を保有。

安心対応



15t 低床WING車
2台保有

突発的な多量の廃棄物にも、
迅速に適正な車輛をご用意。

資源循環センター

〔資源物処理〕



12 つくる責任
つかう責任



ターゲット12.5
2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用
及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

資源ごみのリサイクルステーション

ダンボールや古紙、空き缶、発泡スチロール、ペットボトル等の資源ごみをリサイクルする再生施設です。

可燃ごみの収集車とは別に2tアルミ車にて収集を行い、資源ごみを巡回回収しています。お客様の持込みにも対応しております。

資源ごみの回収



缶



瓶



古紙



ダンボール



ミックス
ペーパー



発泡
スチロール



2tアルミ車

選別圧縮機



磁石でアルミ缶とスチール缶を
選別し、圧縮

製鋼原料として再生



圧縮処理された
空き缶

大型圧縮機



ダンボール、
古紙を各種類ごとに圧縮

製紙原料として再生



圧縮処理された
ダンボール

溶融機



発泡スチロールを細かくし、
インゴットの形に溶融

プラスチック原料として再生



溶融処理された
発泡スチロール

処理した資源物はすべて有価物として販売しています。



【施設設備】

F.R.O.Gセンター
〔食品リサイクル工場〕



食品リサイクル・ループの実現を目指して

2013年に食品リサイクル工場、F.R.O.Gセンターを新設しました。F.R.O.Gセンターでは、食品の製造、流通、消費の各段階で生じる食品廃棄物を、飼料、肥料へとリサイクルしています。
破袋・分別する事で商品としての価値を失くし確実に処理します。これまでゴミとして捨てられていた食品を、飼料や肥料として利用する事で、ごみ処理や環境への負担が軽減できます。また、廃棄物が減少することにより処理にかかるコストも削減できます。



【お客様コメント】

たねやグループ 愛知川製造本部 木田 幸司様

近畿環境保全株式会社様とはよく冬のヨシ刈などで御一緒させて頂いております。以前からCSR活動に非常に熱心だなという印象が強く、機会があれば是非食品リサイクルも一緒に取組みたいなと思っていました。

2017年2月から(株)たねやの「製餡粕」と「寒天」、(株)クラブハリエの「バームクーヘン液体残さ」の飼料化をお願いする事になりました。食品リサイクル法が改正されて排出事業者は従来よりも10%高い、95%のリサイクル率を求められるようになりましたが、苦手だった液体残さに目処が立ち近畿環境保全株式会社様にはとても感謝しております。コンプライアンスや環境に対する意識の高さが、安心して廃棄物の処分をお任せする事に繋がっています。

廃棄となった製品も安心・安全に処理いたします。

安心処理

処理能力
約12
t/日

容器に入っているものや袋入りのものを分別して破袋

安全管理

処理能力
約36
t/m³

缶入飲料やペットボトル飲料を分別

安全管理

保管スペースが大きいので大量に食品廃棄物を保管可能

保管面積
99.6
m²

【第三者意見】

立命館大学 理工学部 教授

橋本征二 様

■プロフィール

資源の採取からごみの廃棄までをトータルに見た資源・廃棄物管理に関する研究に取り組む。気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第4次評価報告書では廃棄物に関する章の代表執筆者、現在、国連環境計画国際資源パネル（UNEP IRP）のメンバー、廃棄物処理・リサイクルIoT導入促進協議会の運営委員、大津市廃棄物減量等推進審議会の会長等。



キンカングループが行っているCSR活動の多様さに感嘆しながら読ませていただきました。自然環境、地域社会、環境学習、共働、労働環境と非常に幅広い分野で「企業の社会的責任」を果たされていることが分かるものでした。これだけの活動を行ってこられた方々に、心より敬意を表したいと思います。また、今回の報告書は、国連の持続可能な開発目標（SDGs）と各CSR活動の関連づけを行っていることが特徴となっており、世界が取り組むべき課題に対するグループの貢献も明らかになるような内容でした。

報告書の中では冒頭に少しだけ触れられていますが、実は、グループの事業活動そのものに関連するSDGsとして、「目標12. つくる責任、使う責任（持続可能な消費と生産のパターンを確保する）」があります。

例えば、目標12.2には「2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する」とありますが、リサイクルは天然資源を効率的に、すなわち何度も利用する重要な手段の一つです。EMSのページで紹介されているリサイクルの推進はこの目標に貢献するものであり、グループの事業活動そのものがSDGsに貢献していること、例えば、リサイクルによって削減できた資源消費量や二酸化炭素排出量などをアピールすることは、廃棄物の排出事業者向けにも有益かと思えます。

また、目標12.3には「2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる」、目標12.5には「2030年までに、廃棄物の発生回避、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する」とあります。これらは、リサイクルに触れつつも廃棄物自体を減らすことを謳っていることから、グループの事業活動にとっては市場を小さくするあまり好ましくない目標かもしれません。しかしながら、社会が目指す方向は廃棄物の最小化であり、それを見据えた展開が垣間見られると、更に先進的な事業活動、そしてCSR報告書になると思います。

【お問い合わせ】

近畿環境保全株式会社 営業本部

〒525-0027 滋賀県草津市野村1丁目3-2 SKキューブ2-B

TEL 077-561-5377 FAX 077-561-5388

E-mail: info@kin-kan.co.jp

URL: <http://www.kin-kan.co.jp>



KINKAN GROUP

【沿革】

- 1962年 創業者の西村裕司が「西村商店」として京都市内で廃棄物回収の事業を始める。
- 1975年 近畿環境保全株式会社を設立。
- 1994年 滋賀県で産業廃棄物中間処理業の許可を取得。破砕機と焼却炉で事業を開始。
- 1998年 中間処理業の許可に品目追加。【廃プラスチックと感染性廃棄物の焼却】
- 2001年 「有限会社新生」を設立。プラスチックリサイクル事業に本格的に乗り出す。
- 2002年 湖南市に「近畿環境保全株式会社 石部リサイクルセンター」を竣工、
2003年より本格的に事業開始。
- 2005年 京都市における一般廃棄物収集運搬業を分社し、有限会社ラゴを設立。
石部リサイクルセンターを別法人に分社化、「株式会社湖南リサイクルセンター」として現在に至る。この時に子会社の新生も合併。総合リサイクルセンターとして事業拡大。
- 2008年 株式会社きぶらを設立し、5月より廃木材をチップ化しリサイクルする新工場を竣工。
- 2009年 西村忠浩が近畿環境保全株式会社の代表取締役社長に就任。
西村裕司が近畿環境保全株式会社の代表取締役会長に就任。
- 2011年 株式会社きぶらの木材チップ製造施設を株式会社湖南リサイクルセンターに譲渡。
湖南リサイクルセンターにおいて、木くずの破砕施設許可を追加取得。
- 2012年 創業50周年事業を行う。
- 2013年 食品リサイクル施設「F.R.O.Gセンター」を竣工。
- 2017年 創業55周年を迎える。
営業本部を湖南リサイクルセンター内から、草津市野村へ移設。

【CSR活動のあゆみ】

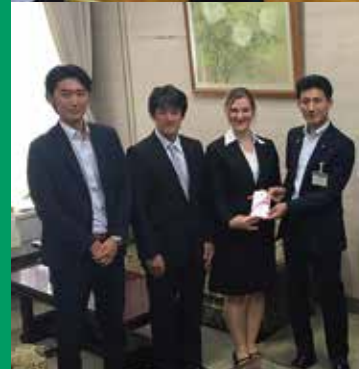
- 2005年 ISO14001 認証取得
- 2006年 廃植物油の回収・BDFプロジェクト開始
- 2007年 小学校における環境学習の開始／琵琶湖環境ビジネスメッセ参加開始
- 2008年 社内環境ポイント制度開始
カーボンオフセット開始（内モンゴルにて植林）
- 2009年 環境報告書の第一号を発行／琵琶湖森林づくりパートナー協定
エコキャップ推進運動開始／愛する地球のために約束する協定
滋賀グリーン購入ネットワーク 入会／グリーン電力を3年間利用
- 2010年 ヨシでびわ湖を守るネットワーク参加／循環型社会創造研究所えこらとの協同事業開始
滋賀レイクスターズ支援開始 エコステーションの設置
- 2011年 いしべ共働作業所 障がい者雇用開始
- 2013年 コナン市民共同発電所へ出資
- 2014年 太陽光発電パネル設置
- 2015年 琵琶湖森林づくりパートナー協定 5年間延長
- 2016年 中間処理棟へLED照明の導入

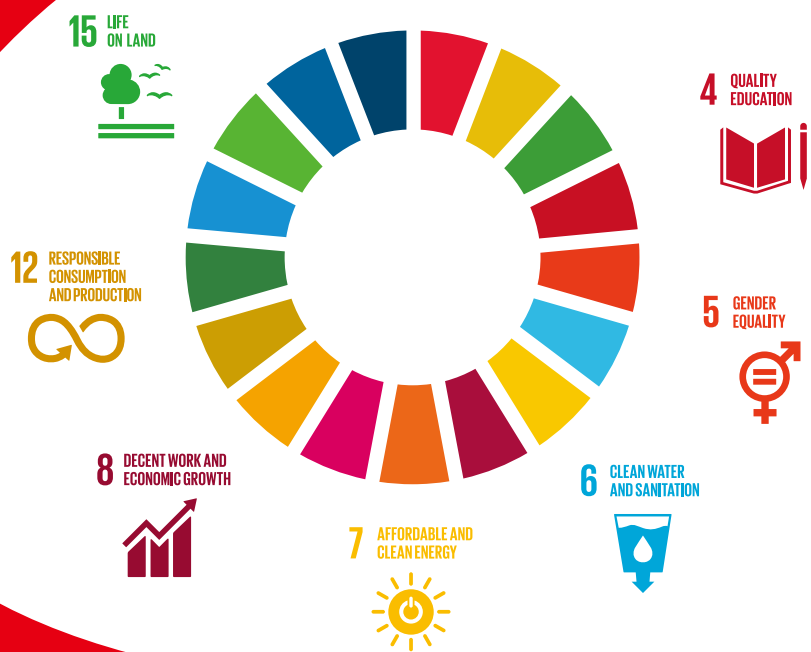
【受賞歴】

- 2011年 第3回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞
第2回しが低炭素リーダー賞 受賞
- 2012年 第4回草津市地球温暖化防止大賞 優秀賞 受賞
- 2014年 公益財団法人 全国産業廃棄物連合会 青年部協議会 CSR2プロジェクト
コンプライアンス部門 受賞 社会貢献部門 受賞



F.R.O.G.S.
FOOD RECYCLE ORGANIC GATHERING SYSTEM





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

KINKAN GROUPは国連の持続可能な開発目標 (SDGs) を応援しています。



この冊子は再生紙を使用しております。